

# 令和3年度 学校評価 報告書

報告日
令和4年3月18日

幼稚園名	芦屋市立岩園幼稚園
園長名	中塚 景子

## 1 今年度の重点目標

- 1 発達段階を考慮し幼児が主体的に遊ぶ環境について考える
- 2 一人一人の幼児が自己発揮できるための指導の在り方について考える
- 3 地域に開かれた幼稚園づくりを進める

## 2 学校評価の実施方法についての学校関係者評価

- ・保護者自身の振り返りになるアンケートでよかった。
- ・岩幼だよりや、スライドを交えて幼児の様子を伝えてもらい、園生活がよくわかった。
- ・項目ごとにまとめられた資料を用意していただき、園の様子や先生方の思いがよくわかった。
- ・回答しやすい方法でよかった。

## 3 学校自己評価結果

( A:十分達成している B:達成している C:概ね達成している D:達成していない )

No.	分野	重点目標	評価項目・取組状況	達成状況	改善方策
1	教育課程指導	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の発達や遊び、興味・関心に応じた遊具、用具、素材等を準備する。</li> <li>・幼児が必要と感じた時にタイミングよく遊具、用具、素材等を準備する。</li> <li>・不思議さを感じるものや仕掛けのあるものなど、考えたり工夫したりしたくなるようなものを準備する。</li> </ul>	A	定期的に幼児の姿を振り返り、幼児の興味関心にそった遊びができるように環境構成について話し合ってきた。必要な用具や素材を速やかに準備できたことで遊びが深まった。また、大学から講師を招き、保育についての助言をいただいた。今まで園で見られなかった遊びについても教えていただき視野を広げる
2	教育課程指導	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児理解を深め、一人一人に合った配慮や援助を考える。</li> <li>・振り返りの記録を整理し、一人一人が自己発揮できる場面について考える。</li> <li>・自分の考えたり感じたことを表現したり、言葉で伝えようとしていく保育内容を考える。</li> </ul>	B	学期に2、3回の園内研究会を開き、実際の保育をお互いに見合い、保育について協議し、保育内容の充実につなげた。また、個々の幼児理解について担任だけでなく、職員みんなで考えるように心がけ、チーム保育が機能するように努めてきた。
3	保護者・地域住民との連携	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方と関わる機会を図る。</li> <li>・地域の行事に園庭や遊戯室等、場の提供をする。</li> <li>・保護者と連携した行事のあり方を考える。</li> </ul>	A	地域の方とのふれあいで、七夕飾りつくりとお雛様つくりの場を予定した。コロナ禍のため、七夕飾りつくりのみ実施できた。また、岩園小学校の学童保育の児童と交流を始めた。コロナ対策をとりながら、小学校の音楽会参観や、図書館の利用ができた。
4	子育て支援	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未就園児の親子に施設の開放をする。</li> <li>・保護者同士が交流できる場や機会を設ける。</li> <li>・降園後、親子で交流できる場や機会を設ける。</li> <li>・在園児と未就園児と一緒に遊ぶ場や機会をつくる。</li> </ul>	A	毎週火曜日の園庭開放、木曜日のさんさんひろば、月1回のわくわくひろばとお母さん広場を開催した。幼稚園で遊ぶことを楽しみにしている。地域にとって利用しやすい場となるようコミュニケーションを大切にできた。

## 4 評価項目に係る学校関係者評価

学校自己評価結果及び改善方策についての評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策をとって様々な経験をさせていることが良い。</li> <li>・幼児の自主性を尊重し、興味に沿って環境を見直し、さりげなく用意しているところが素晴らしい。</li> <li>・講師を招いて常に研究をし、保育に生かしている。</li> <li>・裸足で安心して遊べる環境が嬉しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方の熱意とあたたかさが伝わってくる。</li> <li>・園内研究会でよりよい保育ができるよう研究を積み重ね、チーム保育を実践していることが素晴らしい。</li> <li>・保護者アンケートに「もっと先生とお話がしたかった」という意見があったので、保護者との連携について取組を進めてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、地域との交流は苦勞されたと思う。その中で、季節の行事を体験し、触れ合いを大切にされてことを評価する。</li> <li>・「地域で子供を育てる」という意識が伝わった。</li> <li>・今後、高齢者との交流も広げてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いづれ入園するかもしれない園が早い時期から「慣れた場所」になることは、幼児や保護者が安心できる。</li> <li>・地域の未就園の幼児や保護者にとって利用しやすい、相談ののってもらいやすい施設であったと思う。</li> <li>・月1回のわくわく広場やお母さん広場は、良い取組だと思う。もっと多くの人に参加してもらえるようにしてほしい。</li> </ul>

## 5 総合的な学校関係者評価

重点目標に対しての取組は適切になされ、次年度に向けての改善方策も考えられている。